

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

## 活動紹介

## P&Aいしかり

# 障がいのある人の権利擁護と 地域でのセーフティネットづくり

2001年、障がいのある人のためのセーフティネット会議・北海道(PA北海道)が発足し、道警本部とのジョイントワークシヨップ「知的障がい者を理解するために」や電話相談「SOSコール」等が取り組まれました。

石狩市手をつなぐ育成会副会長の佐々木さん(現在のP&Aいしかり世話人代表)がPA北海道の学習や活動に参加し、石狩市でもPA運動を作っていたいきたいと共に話し合ってきました。その結果、2010年10月『PAI(P&Aいしかり)設立準備会』を発足させ、2年間の活動を経て、2012年12月『P&Aいしかり』が正式に結成されました。

P&AとはP(プロテクション・権利擁護) & A(アドボカシー・代弁)のことで、障がい児者が地域で生活する上で依然として障がいへの理解が浸透していないことから、様々な生きづらさや誤解、偏見等によるトラブルが発生しがちです。街中では時折、知的障がいや自閉症の方々が、物事を理解したり表現することが苦手なために「不審者」に間違えられたり、「犯罪者」

にされたり、逆にトラブルに巻き込まれ被害者になることも。私たちは地域の中に彼らの良き理解者・サポーターを広げる活動をしています。

具体的には毎年、市内の全コンビニ・スーパーへ「コンビニ向けのたのんます!」(PA大阪が制作)と障がい者理解のための資料、サポート協力店の目印となる「PAIステッカー」を配布し、依頼活動をおこなっています。また、身近な暮らしの中で関わる市内の公共交通、病院、消防署、警察署(交番・駐在所)などへは、障がい理解のためのパンフレットの配布を行っています。さらに、石狩市民生委員児童委員連絡協議会障がい者福祉部会の皆さんとの懇談も実施しています。



その後、2016年3月、PandA-J主催のトラブルシューター支援者養成研修を石狩市で開催したことをきっかけに『石狩トラブルシューター

(TS) ネットワーク(以下、石狩TS)が生まれ、2019年からは当事者向けのセルフアドボカシー講座の取り組みがスタートしました。

石狩TSは石狩大地の会(当事者会)を主体にして、主にトラブル予防に向けた取り組みを行っています。石狩TSについては、2021年度、石狩市の広報いしかり12月号の障がい者週間特集でトラブルシューターや石狩TS世話人会、石狩大地の会について紹介されました。また、石狩市自立支援協議会ではTS部会があります。

『P&Aいしかり』は地域での啓発活動・セーフティネットづくりを、また『石狩TSネット』は地域でのトラブル予防、当事者主体のセルフアドボカシー講座等の取り組みを担当し、車の両輪のような関係で活動しています。(P&Aいしかり世話人 金子浩治)

\*活動の様子や資料等をHPに掲載中です。「P&Aいしかり」で検索を。



## つながり合って互いの命大切に

講師に「安積遊歩さん」をお招きして

昨年12月5日(日)、かでのる2・7を会場に、およそ1年半ぶりとなる標記の研修会を開催しました。しかし、コロナ感染対策のため当事者、支援者の皆さんが一堂に会することは避け、オンライン(ハイブリット方式)による実施としました。

この日、会場には札幌にある2団体(20名)が集合、そして、道内各地で活動する本人会、10団体(40名)はオンライン(パブリックビューイング)によって参加をいただきました。講師は参加者からの要望が大変多かった「安積さん」です。これまで、企画しては延期や中止が続き、大変ご迷惑をおかけしていたのですが、今回も私たちのお願いに快く応えていただきました。ただ、オンラインでの講演経験はあるものの、画面越しのワークショップ(実技)をされたことはなく、準備は大変ではなかったかと思えます。

研修会では先ず始めに「ピアカウンセリングのねらいや目的」をお話いただきました。

「時間や思いを互いに分かち合い、聴き合うこと」と「自分を大切に」。「互いに尊重し合うことができれば誰もが大切にされる社会がつけられて



いく」どれも印象に残った言葉です。

次に3〜4名のグループをつくり、安積さんより与えられたテーマで実際に聴き合うグループワーク(カウンセリング体験)をしました。その後、選ばれたリーダーは、グループワークで話しあった感想を発表し合いました。

さらに、会場やオンラインで参加する方々の中から希望者に、安積さんが「カウンセリングのデモンストレーション」を行ってくれました。希望者を募ると、次々と手が上がります。会場参加の「札幌みんなの会」の方は「コロナ禍の中、一人暮らしで色々考えたこと」を、また、オンライン参加の「旭川働く仲間の会」の方からは「職場の同僚同士の口論に遭遇した時の気持ち」を、同じく「伊達わかば会」の方は、「職場で自分に対する期待の大きさに苦しくなり、体調を崩した」ことなどが語られました。とても丁寧にお話を聴きとる安積さんの姿勢は大変参考になったと思います。

1時間半という限られた時間でしたが、皆さんの協力で大変中身の濃い、素晴らしい研修会となりました。



## 劇映画 われ弱ければ

矢島楯子伝

すでにマスクコミ等で報道されていますが、旭川出身の作家、故三浦綾子氏の原作となる標記の映画が完成しました。「全育連」「全サポ」等、多くの福祉関係団体が作品を後援しています。

映画は男尊女卑の風潮が色濃い明治、大正期に女子教育や公娼制度の廃止運動などに尽力し、女性解放運動の先駆者となった『矢島楯子』(常盤貴子)が主人公。メガホンを取るのは、現役女性監督最高齢となる89歳の山田火砂子監督(現代プロダクション代表)です。

監督は、映画製作を始めたきっかけを「我が子が知的障がいであったため」とし「当時、障害年金、生活保護もなく、障がいを持つ子どもを抱え、自殺する人も沢山いた。自分も大変だったが、もっと辛い思いをしている人もいるはず、映画を通して世の中の人に訴えれば、福祉というものを少しでも考えて下さるのではないか」と映画づくりの動機を語っています。

平成19年、わが国で最初の障がい児施設「滝の川学園」の創始者、石井良一の夫人、石井筆子の生涯を「筆子・その愛 天使のピアノ」として映画化。当時、作品の推薦文を寄せた全国育成会、藤原理事長は「実質的に彼女が、育成会の創設者といえる」と表現しています。

道内上映は、3月25日から。どうか、ご期待ください。

## コロナなんかには負けないぞ！

7/24

### 本人会「ひばりサークル」奮闘中！ コロナ禍でも今後に望むこと 旭川

コロナ禍における昨年の「ひばりサークル」の活動は7月の『ウォーキング歩こう会』、10月の『ボランティア清掃』を計画通りに実施できましたが、緊急事態宣言の発令等で11月『料理教室』12月『年末交流会』を『旭川科学館見学』、『ボウリング教室』にそれぞれ変更して実施。5月『花見』、8月『旭山動物園見学』は残念ながら中止せざるを得ませんでした。

そうした中、昨年11月21日(日)に実施した『旭川科学館サイパル見学』を報告いたします。当日は参加した一人ひとりがかちんと行動ができ、支援者にあまり負担をかける、とても感心いたしました。支援者にあまり負担をかけず、本人達でお互いに助け合っているのが、本人活動ではとても重要な事でございます。

また、こうしてコロナ禍で緊急事態宣言が発令されても、できるだけ



中止にはせず、延期するなどして、臨機応変に対応をし、開催時期によっては難しい場合もあるかもしれませんが、その時はまた違った企画内容で行いたいです。これからのひばりサークル」の活動は、旭川市内のボランティア活動や、本人啓発運動に力を入れ、私自身、まだまだ未熟でございますが、本人の皆様、支援者の方と協力し合い、色々な貴重な意見を聞き入れ、活動を進めて行きたいです。そして、道内の本人会の皆様と交流を図れると、とてもいいと考えております。

旭川手をつなぐ育成会 副会長  
同育成会ひばりサークル 会長 菅原広美

### 育成会主催の成人式

### 将来の夢は一人暮らし！

札幌

札幌市手をつなぐ育成会は、令和4年1月9日(日)、ロイトン札幌を会場に「成人式」を開催し、期待に胸膨らみます18名の新成人と成長を見守ってきた保護者、ご家族の方々をお祝いしました。例年は市内三法人(育成会・札幌会・朔風)による合同新年会も兼ねて実施していましたがコロナ禍のため、感染対策を万全に会食も控え、式典のみの開催となりました。

当日は来賓を代表し、秋元克広札幌市長様から「札幌市からの委託事業、相談業務、社会参画への支援等々、育成会の様々な



札幌市をつくっていききたい。」とのご挨拶をいただきました。

また、新成人を代表し、大久保風さんから「将来の夢は一人暮らしをする事。そのために、毎日、朝ご飯をつくり洗濯と掃除も自分でやっています。」と抱負と決意が述べられました。

前回の成人式より、新成人の母校にお願いし、卒業生一人ひとりに先生たちからお祝いの言葉を寄せていただき、式典終了後には札幌国際情報高校吹奏楽部の皆さんによる演奏(ダンプレ)が華を添えました。



### 今後の予定

2月18日(金) 帯広大会第2回実行委員会  
22日(火) 第2回活性化委員会  
28日(月) 第2回ブック事務局長会議

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
**あんしん保険**  
少額短期健康組合保険(特約付) 2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
**こども傷害保険**  
権利継承補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

**ぜんち共済株式会社**  
関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150  
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。  
【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

**有限会社オフィスブレイン**  
〒060-0032  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が全面的にサポート

知的障がい児者・自閉症児者の  
生サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

AIG損保の普通傷害保険  
**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

<p>病氣やケガで入院したとき 入院給付金</p>	<p>賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金</p>
<p>ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small></p>	<p>虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small></p>
<p>病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金</p>	<p>就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small></p>

\*上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー 北海道支店**  
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2F  
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**札幌支店**  
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F  
TEL: 011-204-7510  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**北海道知的障害児者生活サポート協会**  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内  
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所連絡協議会の目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会  
通所事業所連絡協議会**

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7(4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: [doikusei@air.ocn.ne.jp](mailto:doikusei@air.ocn.ne.jp)

★会員事業所紹介★

**株式会社 ワークアース**  
**就労継続支援B型事業所 きずな**

〒080-0018 帯広市西8条南4丁目7番地  
電話 (0155)66-4419 / FAX (0155)66-4467

- ★就労継続支援B型
- ☆定員…20名
- ★主な作業
- ☆施設外清掃
- ☆病院のスリッパ洗浄、消毒
- ☆ヤマト運輸メール便配達
- ☆下請作業
- ☆収穫作業



写真はスリッパ洗浄作業です